

学校教育活動アンケート中間結果報告

100人の横地っ子の今！

7月の「教育活動アンケート」へ御協力いただき、ありがとうございました。アンケートの結果から、横地小学校の子どもたちの実態を捉えるとともに、2学期以降の横地小学校のめざす方向を考えていきたいと思えます。

【菊川市統一・基本の質問】肯定（「当てはまる」+「どちらかといえば当てはまる」の合計）

アンケート項目	児童目標	児童（強肯定Aの数値）		保護者 7月
		5月	7月	
1 学校が楽しい。	90%	95% (78%)	○95% (83%)	92%
2 みんなで何かをするのは楽しい。	90%	97% (79%)	◎98% (83%)	99%
3 授業に主体的に取り組んでいる。		94% (66%)	◎96% (73%)	95%
4 授業がよくわかる。	90%	94% (68%)	◎97% (72%)	83%
5 学校に信頼することのできる先生がいる。		96% (83%)	○96% (89%)	86%
6 地域や社会(横地の地域、学校、学級)をよりよくするために何をすべきかを考えることがある。		94% (64%)	↓90% (60%)	74%
7 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。		95% (76%)	↓92% (70%)	80%



横地小では、重点目標「本気でチャレンジ みんなで笑顔」を合い言葉に、子どもたちの『学びアップ』と『笑顔・元気アップ』に向けて取り組んでいます。児童評価では、全ての項目において、90%以上の高評価となりました。内訳を見ると、5月から7月にかけて、強肯定（A評価）の割合が増えたことがわかります。特に、項目2～4から、友だちとのかかわりを楽しみ、授業に前向きに取り組んでいる様子がうかがえます。

「学校が楽しい」と回答している理由

- ・勉強が楽しいから。算数のテストと竹馬が楽しいから。（1年生）
- ・プールで顔つけができるようになったから。みんなと授業をするのが楽しいから。（2年生）
- ・みんなで教え合うと、みんな笑顔になれるから。班やみんなで授業をするのが楽しいから。（3年生）
- ・友だちや先生に会えるから。授業がわかりやすいから。みんなと仲良くできるから。（4年生）
- ・みんなと授業をするのが楽しいから。みんなと助け合え、仲良く遊んでいるから。（5年生）
- ・苦手なことが少しずつできるようになっているから。友だちと会える、学校生活が好きだから。（6年生）



学校が楽しいと回答している理由からは、以前は「友だちと遊べるのが楽しい」という回答が多かった中、今年度は「友だちと学び合うこと」に関する回答が多数見られました。一人一人が授業に集中し、ほかほか言葉・さん付けを大事にした、温かなかかわり合いができることが、授業の楽しさに繋がります。

一方、課題と捉えるのは項目6「地域や社会（横地の地域、学校、学級）をよりよくするために何をすべきかを考えることがある」です。子どもたちにとって、地域のために何かをすると捉えることは少々難しいのかもしれませんが、しかし、周りの人のために自分に何ができるのかを考え行動することは、集団生活においてとても大切なことです。



高学年の子どもたちは、委員会の仕事やなかよし班のリーダーとして、一生懸命働きかけをしています。あいさつ運動で毎朝校内を回る運営委員会。昼休みにスポチャレ検定のチェックをする健康委員会。各クラスの掃除用具が綺麗に整頓されているか見届けている環境委員会など、よりよい横地小のために一生懸命力を尽くしています。2学期、“みんなのために”の視点を大事に、自分には何ができるのかを考えることで、子どもたちの自己有用感をさらに育てていきたいです。

【児童：学び/生活に関する質問】

	アンケート項目	A(している・できる)と回答した児童	
		5月	7月
1	学習の構えを意識している。 A:している B:していない	88%	◎92%
2	横地っ子検定で合格できるように、工夫して宿題に取り組んでいる。 A:している B:していない	95%	◎97%
3	聴いている人に伝わる声ではっきり話している。 A:できる B:できていない	93%	↓91%
4	委員会の仕事や当番・係の仕事を責任もってやっている。 A:できる B:できていない	92%	◎95%
5	横地っ子のじまん…ほかほか言葉 A:できる B:できていない	84%	◎90%
6	横地っ子のじまん…自分からあいさつ A:できる B:できていない	94%	◎95%
7	横地っ子のじまん…もくもく掃除 A:できる B:できていない	87%	◎93%
8	スポチャレ合格に向けて自分から練習している。 A:している B:していない	85%	↓67%
9	自分にはよいところがある。 A:ある B:ない、わからない	91%	◎94%

今年度より、子どもたちに目標に向かって主体的に学習する力を育むため、「横地っ子検定…漢字&タイピング」に取り組んでいます。テスト範囲を事前に示し、検定合格に向けて練習をします。給食後の時間や、自学等で、工夫して学習に取り組む姿が様々な学年で見られました。多くの項目で評価が良かった一方、2学期さらに伸ばしたい力は“はっきり話す”力です。能楽ワークショップでも、能楽師の佐野先生から““あいうえお”の口をしっかりと開けること”を指導されました。長引いたマスク生活により、子どもたちの発表もなかなか声が出ないのが現状です。しかし、1学期の終業式3人の代表児童の言葉がとっても素晴らしかったこと！堂々とした姿・話し方に、本気で聴く子どもたちでした。横地大好き発表会を学びの発表の良い機会とし、子どもたちの話す力・伝える力をさらに伸ばしていきます。

【保護者に対する質問】肯定（「当てはまる」+「どちらかといえば当てはまる」の合計）

	アンケート項目	保護者（7月）
1	横地小は家庭に学校の様子を伝えている。	◎95%
2	家族で毎朝「おはよう」の挨拶をしている。	◎98%
3	保護者も優しい言葉遣いをしている。	78%
4	子どもの家庭学習を見届けている。	86%
5	家庭では、早寝・早起き・朝ごはんを大切にしている。	◎94%



あいさつ、宿題、早寝・早起き・朝ごはんは、毎日の生活の中で大事にしたいことです。どれも習慣化されることで、子どもたちの確かな力となっていきます。また、子どもたちが育つ“優しい言葉の環境づくり”に、家庭・学校・地域で共に取り組んでいきたいものです。御協力、よろしくお願いいたします。